

キャラクター名 夜桜 薫 (よざくら かおる)	プレイヤー名
----------------------------	--------

シンドローム	ブラックドッグ キュマイラ	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	大学生
オプション	ハヌマーン	年齢	20	性別	女性
覚醒	渴望	衝動	闘争	初期侵食率	37 %
出自	親の理解	経験	大事故	邂逅	好敵手

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	5	1	0			6	行動値	8
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	8
精神	1	0	0			1	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
データブレイン		ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
破壊者 (ディザスター)	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ハードワイヤード	4	(4)	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	データブレイン*4指定							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	素手のデータ変更 (種別: 白兵、技能: 白兵、命中0、ガード1、攻撃力+[Lv+8]、射程: 至近)							
ハンティングスタイル	2	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	戦闘移動を行う。離脱可。他のエンゲージに接触しても移動を終える必要はなく、封鎖の影響も受けない。1シーン[Lv]回まで							
血に飢えた跳躍	2	4	メジャー	武器	単体	対決	リミット	
効果:	組み合わせた白兵攻撃の攻撃力に+[Lv*3]する。隠密状態ならさらに判定ダイスに+2個する							
コンセントレイト: キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値を-[Lv]する(下限は7)							
バリアクラッカー	2	4	メジャー	武器	-	対決	80%	
効果:	ガード不可・カバーリング時ガード無効・装甲無視。1シナリオ中[Lv]回まで							
獅子奮迅	2	4	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果:	白兵攻撃の対象を範囲(選択)に変更する。シナリオ中[Lv]回まで							
セキュリティカット	★	1	メジャー	至近	機械	自動	-	
効果:	セキュリティ・電子錠の解除							
タッピング&オンエア	★	1	メジャー	視界	電波	自動	-	
効果:	電波や映像や音声の送受信							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「大丈夫だって、思い出したらオレの頭にはおおよそきちんと残ってっから。それにオレがいなくなっても残るものはある。だろ？」

<3行説明>
 気さくで口より先に出る系ボーイッシュ女子。一見華奢だが腕っぶしが強く、喧嘩や腕相撲では負け知らずを誇る。表にはあまり出さないが根は素直。日々任務に追われる家族をいつも気にかけている。戦闘では真っ直ぐ敵に突っ込んで豪快に殴るインファイターで、回復手段を持たない代わりに薄い防壁などものともしない「やられる前にやれ」主義。

<詳細設定>
 主に破壊工作と戦闘を請け負うUGNエージェント。大学では工学系を学んでいる。手先は器用なほうではないが、多少なら電子機器システムのロック解除や音声・映像の工作ができる(ほぼシンドロームのおかげ)。10代前半の頃にレネゲイドウイルスに感染し、のちに友人を庇って車両事故で負った大怪我をトリガーに発症した。病院に搬送された当初はほぼ植物状態だったものの、重症のダメージに呼応したレネゲイドウイルスによって回復・オーヴァード化の兆候があらわれ、UGNの監視のもと無事に全快した経緯がある。あまり年頃の女子らしい振る舞いをしなくなったのはこの頃から。脳に埋め込まれたデータブレインは本人いわく「せっかくだからついでに差した」。1枚につき家族1人分の情報や思い出が記録されている。

和阪重県涼風市にある夜桜支部に住み、支部長かつ居合道の師範である父親、数百年を生きる副支部長の母親、卒業式を間近に控えた絵描きの弟と一緒に任務をこなしながら暮らしている。自身は弟と同じく養子の身である。前述の事故の際に夫妻に引き取られて以来本来の両親とは面識がない。現在の環境にはそれなりに馴染んではいるものの、本来の家庭とは違う環境や過去を少し気にしている節があり、とりわけ元の家の記憶がほとんどないことに虚しさを覚えることも多い。もっぱら表に出すことはないが、自分を「オレ」と表すのは脆さを隠して強情でいたいからかもしれない。